

光市医師会報

昭和58年 3月発行

No. 126



シンガポール

光 市 医 師 会

医師会月間行事

◎定例理事会

2月8日 (火) 7・30 PM

医師会館

○報告並びに協議事項

1. 医師会長会議、医師連盟、医師国保組合会議等 2月24日開催の予定
2. 光丘高校新設開校について 校医の依頼
大野会長に校医の人選交渉を依頼
3. 2月例会
2月22日(火)を予定し、主題を老人保健法に関する諸問題とし、中村啄美担当理事に諸準備依頼
4. 学術研修会
月例会と分離して月末実施の予定、目下交渉中
5. 老人保健法に関して
 - イ. 山医発第447号の説明
 - ロ. 山医発第450号の説明
 - ハ. 老人保健と原爆医療との関係
認定疾患は原爆優先
その他の疾患は老人優先
 - ニ. 請求事務処置の仕方について
 - ホ. 自己負担分の問題点
被保険者は無料が、70才で㊦
毎月400円の支払
継続医療も、70才になったら、
㊦で400円支払
6. 昭和58年度予算作成資料について
 - イ. 才入、才出に関して
 - ロ. 昭和58年度中間決算内容の検討

ハ. 市医師会費の決定について

ニ. 医政連盟費についての検討
集め方等について

ホ. 広域集配補助金は次年度は0

ヘ. 学校医研修補助金は次年度は0か

7. 「ピープル」購入に関する問題

各希望者に配達されるように処理することとする。集金は医師会で。医師会分は不要。

8. 学校医研修会並びに学校保健研修会の実行案と計画諸問題

市役所大会議室

プログラム内容等について

資金、補助金等の問題

9. 心臓病調査票に関する説明

心臓病管理指導表、心臓病管理指導区分に関する説明、学校側の方針について

◎光市学校保健研修会

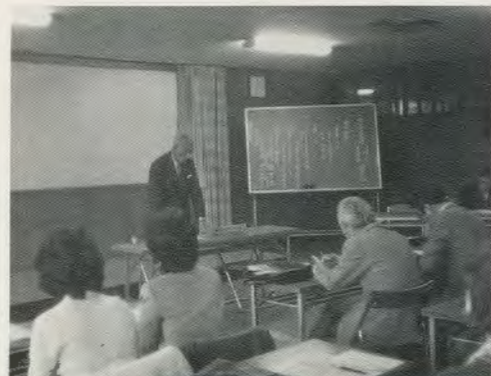
主催 光市医師会

後援 光市学校保健会
光市教育委員会

日時 昭和58年2月17日 (木)

午後1時半～4時

場所 光市役所大会議室 (3階)



演題及び講師

1. 児童のう歯に対するミラノールの効果について
光市歯科医師会理事、儀本健三郎先生他
2. 児童、生徒の屈折異常について
光市医師会理事 中村国雄先生
3. 児童・生徒の心臓検討について
光市立病院小児科部長 横山宏先生
光市医師会理事 福本寿雄先生

◎保険請求事務研修会

2月22日 (火) 7・30 PM

光市医師会館

老人保健法に関係ある保健請求事務上の諸問題について

1. 社会保険請求書に関する変更分について
2. 社会保険総括請求書購入の件
老人公費併用の場合、公費単独の場合、本人と公費の併用、国保老人公費の併用、国保公費の併用、初回再診の請求の仕方

◎月例会

2月22日 (火) 8・30 PM

光市医師会館

1. 昭和58年度医療金融公庫の改正のあらまし
2. 地域医療諸金額の交渉経過報告
回答書の内容報告と検討
周辺都市との関連をみて、基本的な了解
3. 予防接種出務時の注意事項
4. 休日診療当直表配布と内容の説明
交替の時には1ヶ月前にはして下さい。

◎学術研修会

2月28日 (月) 7・30 PM

浅江 松原屋

演題 最近の高血圧の治療

講師 国立岩国病院 内科医長

湊 武 先生

外国に行った話

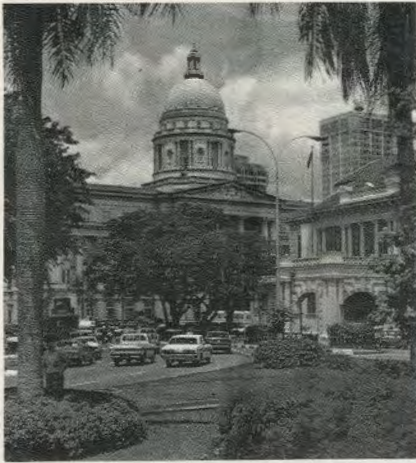
伊藤慶二

生活に余裕もなければ、時間がとれる訳もなく、沢山の職員をかかえた産婦人科では、幾日も留守にして旅行などと考え致ることもなく、二十年余り過ぎてしまいました。

しかし、時間の経過と共に、社会情勢が大きな曲り角にきたようで、医療事情も急激な変化が予想されましたので、一昨年夏生れて初めて外国に、アメリカ五大湖の周辺の病院を走り廻る病院協会のグループに参加しました。フリータイムなしの超ハードスケジュールにきれいに3kgやせてしまいました。それがそれ以上に非常に大きな洗脳と沢山の未知の事がえられました。病院に関しては、強烈なショックをくらいまして、結局今だにそのショックから立ち直すことが出来ずにいます。

アメリカの医師個人の生活や仕事は、まあそれぞれかたちになっていると思いますけど、病院形態の時間的推移とか変遷にはあいた口が塞がらないというか、余りにも大きな打撃でした。

行政が政治が、アメリカの病院をどんな方法で、現在の形に追いやったかということ。日本の場合臨調と申しますか、業革



と申しますか、今から医療面、なにかんづく病院に対する政治行政の処理の仕方の話です。

話は変わって、2月中旬、シンガポールに半分公式な用事でしたが、2回目の海外旅行を致しました。これは仕事関係なしの極めて楽しいお遊びでした。見るもの聞くものすべて新しいものばかり、失敗もしましたが、思い切りいろんなところに行き、みて聞いて、食べて参りました。今回の旅では3日間で1kgふりました。表紙のように町の中心地もすべて、大木が茂っていて緑の多い、狭い島ですが、建物の間は実に広々とした芝生で、おおおとした大木が茂っている美しい町です。その中に住んでいる人種が又非常に雑多で多し、言葉も宗教も生活も違うのに、こん然としながら治安のいい美しい観光都市、産業都市として発展しているところが面白く、はいりこめばはいりこむ程奥つきぬ面白い町だと思います。この次はもっと英語の実力をつけて、もう一度町の中にくりだしてみたいと考えています。

写真は人口250万人のシンガポールの最高裁判所です。町の中は勿論、島中どこ

もこのように美しくきれいにしております。ゴミを捨てる罰金500シンガポールドル(日本円で約5万円位)

旅というものは、楽しいものですし、人生の糧として必要なものだと思います。見るもの、聞くもの、食べるもの、話すもの、感じるものすべて新鮮で珍らしく面白く興味がつきぬ楽しい経験です。どんな旅行でも楽しいですけど、やはり旅をして最も満足し嬉しいのは、行った先で待っていてくれる人がいることです。旅先で迎えて下さる人、共に食事をしながら友情を暖めあえること、見知らぬ土地を案内して貰ったりその土地の知識を教えて貰えることもあるし、誰かそこにいて迎えて下さる旅行は、又何よりも一番楽しい旅行に違ありません。

あとがき

老人保健法が施行され、医療の世界もガクこと大きき曲ったように思います。病院のよしあしに関係なく、老人病院には大変な打撃です。

医療機関に対する打撃は、続いて掘り落されてくるでしょうから、この次にはどの部分にくるか判りません。ナポレオンではないでしょうが、各個撃破の戦法をとるのならば近いうちに己の身にもくるのでは……。

(伊藤)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社